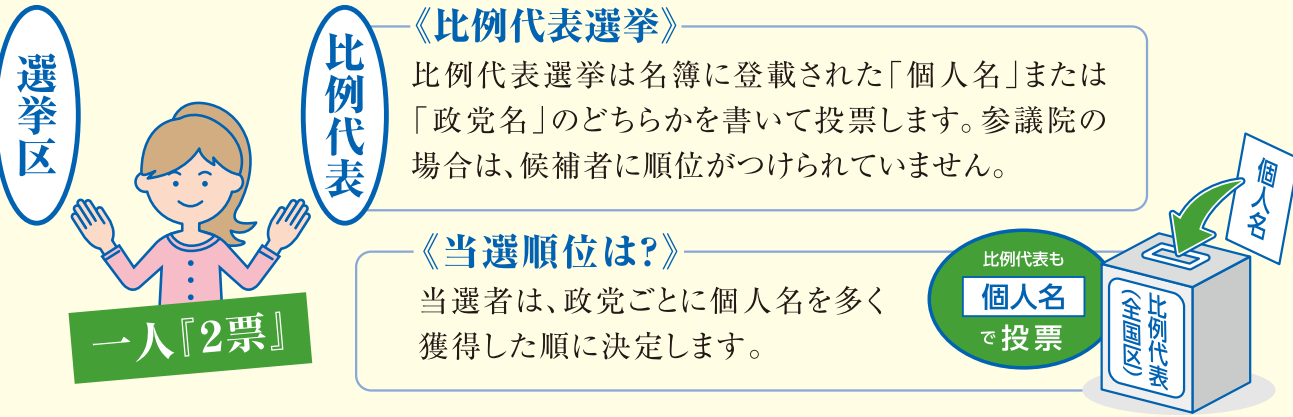


# 参議院の比例代表選挙(全国区)って？

参議院選挙には『選挙区選挙』と『比例代表選挙』があり、一人が2票投票することになります。



つまり、**比例代表は『個人名』で投票**することで、政党と候補者の両方を応援することができます。

## プロフィール

昭和30年、山口県田布施町に生まれる。  
中央大学を卒業後、ペンシルベニア大学大学院で国際関係論学科修士課程を修了。  
産経新聞社に入社し、政治部長・論説委員、編集長などを経て、執行役員(九州・山口本部長)を務める。  
平成25年、参議院議員(全国比例)に当選

### ■現在の役職

自由民主党 副幹事長  
自由民主党 選挙対策委員会 副委員長  
参議院自由民主党 副幹事長  
参議院 北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会 筆頭理事  
自由民主党 国防部会 副部会長  
自由民主党 農林部会 副部会長  
自由民主党 女性局 次長  
自由民主党 商工・中小企業関係団体委員会 副委員長  
自由民主党 北朝鮮による拉致問題対策本部 事務局次長  
参議院 経済産業委員会 委員  
参議院 憲法審査会 委員  
参議院政策審議会 国家公務員再就職制度ワーキングチーム 事務局次長  
自由民主党 安全保障と土地法制に関する特命委員会 副委員長  
自由民主党 領土に関する特命委員会 幹事

### ■これまでの主な役職

経済産業大臣政務官  
参議院 外交防衛委員会 理事



## ご寄附のお願い

未曾有の国難に直面している今、問題を先送りせず、我々の世代で難題を解決し、次世代に「誇れる国 日本」を受け継いでもらう責任と義務を果たすため、皆様のご理解とご支援をお願いします。

【個人の場合】 リソナ銀行 参議院支店 普通 0033723  
経友懇話会 代表 北村経夫

【団体の場合】 リソナ銀行 参議院支店 普通 0033749  
自由民主党山口県参議院比例区  
第六十八支部 支部長 北村経夫

## 参議院議員 北村経夫事務所

【議員会館】 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1109  
TEL: 03-6550-1109 FAX: 03-6551-1109  
【山口事務所】 〒753-0064 山口県山口市神田町5-11  
TEL: 083-928-8071 FAX: 083-928-8072  
【メールアドレス】 office@kitamura-tsuneo.jp

●**党员募集しております**● 詳しくは事務所まで

VOL.  
17

# 北村経夫NEWS

平成29年12月15日発行

きたむらつねお ニュース

TSUNEO KITAMURA NEWS

参議院議員 北村経夫事務所

自民党 Lib Dems  
Liberal Democratic Party of JAPAN

## この国を守る。 未来を育てる。

先般の衆議院議員選挙では、引き続き自民党に政権を担う重責をお与え頂きました。心新たに緊張感と謙虚さを以て、諸課題解決に取り組む覚悟です。

私は今年も自民党副幹事長として全国を駆け巡り、福祉・教育・産業・金融・農林水産・防衛・文化スポーツなど、現場でご活躍の皆様と膝を合わせ意見交換させて頂いております。改めて「人は宝」という言葉がこの国を言い得たものであることを再認識するところです。

今後もこの国を守り、未来を育てるため全身全霊で活動が続けて参りますので、引き続きのご指導ご鞭撻をどうぞ宜しくお願い致します。



参議院議員  
(全国比例)

きたむらつねお

# 北村経夫

私、北村経夫は、自民党参議院・全国比例選出の議員です。

# 党副幹事長としての365日

# 全国を駆け巡り、さまざまな分野で活動してきました。



隣国との友好関係構築は国を守る基本中の基本  
北方領土返還の実現を目指す ～ロシアのプーチン大統領と  
参議院を代表してWTO議員会議 ～スイスのジュネーブ



沖縄基地負担軽減を全国自治体議員と目指す



北の守りの要…旭川駐屯地  
～高田克樹第二師団長と



外交  
防衛



参議院本会議で安倍総理  
に質問

国会



農業振興策について二階幹事長と



拉致問題等特別委員会の筆頭理事として



北朝鮮の脅威にしっかり向き合う ～予算委員会



国会議事堂見学会を随時開催しています



主催する時局講演会は  
第10回目を迎えた



全国各地で国政・国際情勢を講演しています



広報  
交流



各地の自治体議員の皆様と勉強会を開催



振興



避難所でもある学校施設の耐震化促進を ～林文科大臣と



山口県土地改良事業団体連合会の会長として



水墨画など伝統文化を後世に ～総理官邸

